

ご使用に際して、この説明文を必ずお読みください。また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

薬師八味地黄錠

第2類医薬品

漢方製剤

【特徴】

本剤は原典「金匱要略」に収載の「八味地黄丸」であり、原典に倣って生薬末で製造したこだわりの製剤です。本剤は、腎虚に対する補益剤ですので、下半身が冷えて弱くなった方、残尿感や頻尿など尿のことで心配のある方に適しています。

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください。

- (1) 胃腸の弱い人 (2) 下痢しやすい人



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人 (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この容器を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、腹痛
その他	動悸、のぼせ、口唇・舌のしびれ

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この容器を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この容器を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

【効能・効果】 体力中等度以下で、疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で、ときに口渇があるものの次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善（肩こり、頭重、耳鳴り）、軽い尿漏れ

【用法・用量】 次の量を食前又は食間に水又は温湯にて服用してください。

(食間とは食後2～3時間を指します。)

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠	3回
15歳未満	服用しないでください	

<用法・用量に関連する注意>用法・用量を厳守してください。

【成分・分量】 本品9錠(3.6g)中

混合生薬末……………2909mg

ジオウ……………0.89g	タクシャ……………0.33g	ケイヒ……………0.11g
サンシュユ……………0.45g	フクリョウ……………0.33g	
サンヤク……………0.45g	ポタンビ……………0.33g	

ブシ末……………0.11g

添加物としてステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、乳糖水和物を含有します。

【保管及び取扱上の注意】 (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わります) (4) 本剤は天然物を成分としていますので、製品により若干色調が異なる場合がありますが、効果に変わりありません。(5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



PE, M, PET

【発売元】 株式会社 日本薬師堂 東京都目黒区青葉台3-2-12

TEL 0120-894-894【フリーダイヤル】

8:00~19:00(年中無休)

【製造販売元】 松浦薬業株式会社 名古屋市昭和区円上町24-21

【副作用被害救済制度】

TEL 0120-149-931【フリーダイヤル】

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html



使用期限

製造番号